

NO. 406
2024.2・3

CENTER NEWS



奥の洲



太閤井戸

目 次

組合員代表者交替にあたり	長谷川 健 …………… 1
1月・2月定例理事会	…………… 2
能登半島地震調査	八谷 誠 …………… 3
かいしゃたんぼうき《株式会社キンキ地質センター》…………… 4	
土質力学応用講座のお知らせ	…………… 6
委員の独り言	工藤 高弘 …………… 7
編集後記	中谷 英之 …………… 8

表紙説明

少雨の影響で水位が下がった琵琶湖。2023年12月初旬、基準水位からマイナス72センチとなった。この時期の平均に比べるとかなり低い状況で、琵琶湖岸の各地に現れた珍しい光景を写真に収めた。

奥の洲：長浜市湖北町の浅瀬にある小島のような「奥の洲」。普段は沖合に浮かぶが、水位低下により陸続きに。

太閤井戸：豊臣秀吉が築いた長浜城（長浜市）にあったという「太閤井戸」。1939年の渇水時に発見され、石碑が建てられた。普段は石碑の土台部分や周りの石垣が湖水に浸っており近づけない。
(写真、文責：長谷川)



組合員代表者交替にあたり

株式会社エイト日本技術開発
執行役員関西支社長 長谷川 健

お世話になっております。2023年6月1日付で株式会社エイト日本技術開発 関西支社長に就任し、協同組合関西地盤環境研究センター組合員代表者をさせていただきます 長谷川 健 と申します。よろしくお願ひ申し上げます。

先ずは、2024年1月1日に起きました令和6年能登半島地震に対して、お亡くなりなられた方のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された方々に対してお見舞い申し上げます。

関西で地震と言えば、1995年(平成7年)1月17日に起きた阪神・淡路大震災が思い起されます。当時、私は兵庫県神戸市須磨区に住んでおり、地震時(5時46分)は布団の中でしたが、大きな揺れでとっさに隣で寝ていた子供に覆いかぶさり、その私の背中にテレビが落ちてきたことが思い出されます。家の中は家具や食器が散乱しましたが、幸い人身や家屋は無事でしたので、火の手が上がっている会社方面に急行しました。兵庫区にあった会社社屋は、火災や倒壊はなかったものの、室内はぐちゃぐちゃで、柱のせん断クラックの間から外の景色が伺えました。その後4年間、明石市内の倉庫に事務所を移転し、天井が低く、暗い室内で震災復興に汗を流しました。印象に残っている一つとして、明石から尼崎の現場に車で通っていたことがあり、神戸市内の道路はいつも渋滞が発生し、1時間程度少しも動かなかったことが多々あり、忍耐力が培われたものと思っています。

また昨年まで4年間東北支社に赴任しましたが、東日本大震災後10年を経過し、復興支援は一段落した状況ではありましたが、未だに改修工事が継続している箇所や市街地整備後も空き地のままの地域があるなど、課題も経験させていただきました。

能登半島地震では震災復興はこれからですが、阪神淡路大震災や東日本大震災を教訓とし、土木・建築業界が団結して元の生活基盤を取り戻せるよう、関係者の一人として一助となれるよう支援したいと思ひます。また復興の第一歩として、地質調査の役割は重要となりますので、センター様及び組合員様と一緒にその重要な役割を担っていきたくと思ひます。

さて自己紹介をさせていただきます。1960年1月15日生まれ、64歳になりました。生まれは岡山県倉敷市で、大学を卒業した1982年(昭和57年)に弊社前身である八雲建設コンサルタントに入社し、今年で42年目となります。ちなみに入社当時の上司は、センター理事である藤井さんで、厳しく、楽しく育てていただきました。感謝です!! 入社配属された松江支社には、当時土質試験室があり、材料試験や力学試験を手伝った覚えがあります。関西には、1990年(平成2年)神戸支店に異動し、それから34年間過ごしています。職務経歴は、地盤解析、トンネル、橋梁、農業土木、下水道、港湾、河川とインフラ分野に幅広く対応してきました。地質調査分野は、入社当時の地盤解析だけですが、その後もこの経験を活かし、各分野での土質基礎検討などを行ってきました。センターに関わるご専門の方には到底及びませんが、今後も地盤調査に関わっていきますので、ご指導よろしくお願ひいたします。

また個人的には、現在の趣味はと言えば、ゴルフオンリーであります。始めたのは社会人4年目からであり、経験は38年ほどありますが、若い時は仕事や子育てに追われ、ラウンドは年2・3回程度行けば良いほうで、全然上達しませんでした。50歳を超えたあたりから練習に行くようになり、現在は日々上達を目指してクラブを振っています。年を重ね、思うよう体が動かなくなってきましたが、老体に鞭打って頑張ります。センターゴルフコンペには、昨年11月に参加させていただきましたが、これから毎回参加を目指しますので、よろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、関西地盤環境研究センターの理念を心に刻み、センター様及び組合員様の発展のため、最善を尽くす所存です。これからもご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

(記:2024年2月3日)

令和6年1月29日（月）14時00分より、大阪キャッスルホテル会議室にて理事9名が出席して開催した。

定款の定めにより、寺西理事長が議長に就任し議事進行を行った。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告
12月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 12月分事業報告の件
- 3) 令和5年度第3四半期（4月～12月）実績報告の件
- 4) 令和5年度決算予測について
- 5) その他の件
 - (1) ものづくり補助金（第16次）採択について
 - (2) （一社）関西地質調査業協会広報誌（GEO）広告掲載依頼について

【審議事項】

- 1) 賃金規程他規定類改定について
- 2) その他の件
 - (1) 大阪府中央会「令和6年能登半島地震中央会義援金」依頼について

令和6年2月27日（火）15時00分より、大阪キャッスルホテル会議室にて理事9名が出席して開催した。

定款の定めにより、寺西理事長が議長に就任し議事進行を行った。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告
1月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 1月分事業報告の件
- 3) 第44期通常総会費用について
- 4) その他の件
 - (1) 沈降分析自動化システムの日本システム管理との契約について
 - (2) 不飽和三軸試験の請求について
 - (3) 若手技術者・中堅技術者体験会、土質力学応用講座申込状況報告

【審議事項】

- 1) 令和5年度決算予想について
- 2) 令和5年度概算剰余金処分（案）、及び職員期末手当（案）について
- 3) その他の件
 - (1) 組合員新規加入申し出の件

能登半島地震調査

専務理事 八谷 誠

地盤工学会能登半島地震被害調査の一環で、宅地被害を地盤品質判定士会が担当することになり、地盤品質判定士会の一員として第二次調査に参加してまいりました。調査員は国士舘大学の橋本隆雄先生を主査とし、関西からは大阪公立大学名誉教授大島昭彦先生、中央開発株式会社関西支社支社長の前田直也様と私の計3名と金沢大学名誉教授の宮島昌克先生、その他東京、静岡、新潟からのメンバーを入れて総勢10名です。

調査期間は、2024年2月3日（土）から2月6日（火）の4日間でした。金沢市内に宿泊場所を確保して、北へ、南へ、東へと毎日往復しながら主要な被害箇所を調査してきました。

(1) 調査の行き先と工程

- 3日(土)：液状化被害箇所（金沢城跡・内灘町）・盛土崩壊箇所（辰口中央小学校・福井県名泉郷会館）
- 4日(日)：地震動・液状化・津波による被害、斜面崩壊（珠洲市・能登町・穴水町）
- 5日(月)：液状化被害箇所（氷見市・高岡市）・擁壁被害箇所（糸魚川市）
- 6日(火)：盛土崩壊箇所（七尾市南ヶ丘・津幡町緑が丘3丁目・石川高専）



(2) 調査に参加して感じたこと

調査結果は地盤工学会で取りまとめて、最終報告書として公表されると思いますが、今年の地盤工学研究発表会（旭川市にて開催予定）においても活発な議論が行われると思います。今回は当センターの顧問大島先生とも一緒しましたので、適切なタイミングで組合員へ報告する機会も設けたいと考えております。

29年前、阪神淡路大震災がありました。その時の衝撃もすさまじいものがありました。業務対応でも大変な思いを経験しました。今回の地震は、これに加えて東日本大震災、熊本地震による被害も連想させるひどさだったと思います。さらに、今回訪れることはできませんでしたが日本海側の地盤隆起という地球イベントも生じています。

近年ではSNS等が発達し写真だけでなく動画も多くみられるようになりましたので、現地へ行かなくとも概略被害状況は分かるかとは思いますが、やはり現場へ行くことで、感じることは非常に大きかったです。インフラに関わる一技術者として、復興に貢献していきたいと、思いを新たにしました。太平洋側の巨大地震が来る前に復興できることを祈っています。

かいしゃたんぼうき

株式会社 キンキ地質センター

会社設立 | 1956年3月
資本金 | 4,000万円
主たる業務 | 地質調査業・建設コンサルタント業



今回、インタビューをさせて頂いた山下様、市原様ありがとうございました。下記の内容でメインは2名の方にこたえて頂いておりますので、敬称略させて頂いております。なお、高柳様、山田様、高橋様にも答えて頂いております。その際も敬称略をさせて頂いております。



社内の雰囲気はどんな感じですか？

Y：全体的に和やかな印象があります。私が中途採用で入ってきており、勤続10年目になりますが以前いた会社が殺伐とした一触即発の雰囲気だったので、落差がすごすぎてびっくりしております。新卒で入社したらその辺がわからないのではないかと私は思います。

I：僕は、入社した時に緊張してガチガチだった側の人間だったのでその辺をほぐして頂けた印象です。やっぱり真面目に真剣に取り組んでるけど張りつめた感じではなく独特な雰囲気がいい感じだと思います。

社員のかたはどのような方が多いですか？



Y：基本的には大ベテランが多い。勤続年数25年の方が多。25年は四半世紀以上、勤めていらっしゃる方が大半です。私が入社してから徐々に若手の方が増えてきています。

二十歳前後のボーリングオペレータの助手が非常に多い会社ということで、オペレータさんたちは呑むのが大好きでみんなで集まって盛り上がる感じの多い会社です。

I：四半世紀は私が産まれる前からいらっしゃる方が多くて、わりと気軽に話しかけて頂けるのでとてもありがたいなと感じています。オペレータさんは私と同じ年齢に近い方たちもたくさんいらっしゃるのすごいなと感じています。

どのような仕事を得意とした会社ですか？

Y：基本的には土砂ボーリング、岩盤ボーリングを主とした地質調査業務になります。ボーリング孔を利用した試験をメインにしております。表面探査やレーダー探査なども行っております。土質試験の方もやっております。発注者さん渡す感じになります。最近は測量の方も入って頂き、業務を行っております。台風などの土砂災害なども地元の業者で調査をしています。

御社に入ってよかったと思えることはありますか？

I：大学のころは地質とは関係ない方を専攻しておりました、生物などの方を勉強していたので、全く知らない世界に触れたことや、知らない知識を教えて頂いて、自分自身にとっては良かったと思っています。

Y：一時は京都で大きい会社だと聞いていますが、協力会社さんが多くて顔が広いといいますか。色々とお願いをしたらやって頂けたり、逆にお願いがきたりとかで仕事を頂けたりしているのがよかったなと思います。



高柳：営業では、68年の長年培ってきている関係性があるので、営業をしても感じますし、営業もしやすいです。

高橋：以前いたときは下請けさんをお願いするのが中々大変で、雪が降ったら下請けさんが帰られたりとかとの対応が大変だったのですが、今は現場にオペレータさんがいるのでそのような心配が全くないので精神衛生上安心できます。



皆さんで一番盛り上がる時はどんな時ですか？

I：社員旅行は盛り上がりました。大人数での社員旅行でいろいろな支部の方たちも来られていて普段話さない方たちも話せたり、今回は有馬にいきました。

山田：コロナ前は2年に一度程度いっており、10年前だったかそれぐらいに北陸の方へ行きました。

Y：仕事で、久しぶりに再会した方とは盛り上がります。仕事で再会したら知らない間にその方が出世されてたりと、いろいろと変化があるのでそんなときは盛り上がります。

仕事上の失敗談はありますか？

Y：言える範囲なのですが、土質試験の依頼で圧密試験を段階载荷でセンターさんに依頼をしていたのですが、大阪市の発注だったのでセンターさんから大阪市の発注は定はずみの御依頼が多数ですが大丈夫ですかの確認連絡があり、仕様書を見たら定はずみ圧密試験だったので連絡があって良かったです。



I：現場に行く際に荷物が多数あり、確認はしているのですが、現場についてから忘れていりということがありました。



その失敗をどのように次にいかせていますか？

I：忘れ物のチェックシートや、他の方と一緒に確認してもらっています。

Y：仕様書を確認するのと、思い込みを捨てるのを心がけて、仕様書の確認をしっかりする。というのを心がけています。



センターのここがいいな～ というところはありますか？

Y：本当に、無理なお願いをきいてもらっています。年末、年度末のすごい仕事が混みあっているときにも結構ちゃんとしていただけるなという印象です。一回思ったのが、明日までには結果出しますと言われていたのに、もうきた。えっ！早！！と思ったり、思っていたよりすごい早く試験結果がきたりするので、結構ちゃんと休憩とかしているのかな？と思ったり、それぐらい一生懸命、仕事をしていただけるのでそこがいいなと思っています。

御社からみたセンターってどんな印象でしょうか

Y：私としては大変深いつながりがあるところで、あと同僚のような感じで顔見知りの方が多くて気軽に連絡とれて、こちらの無理なお願いをさせて頂いた時も快く引き受けて頂けるので、仕事の同僚のような感じで関わらせていただいております。

I：去年、実際の試験の様子を見学しているんなことを開催していただけるのを見られてよかったです。抜き出しを体験しました。



センターはこうしてほしいなというところはありますか？

高橋：土質試験を依頼するときに三軸試験の条件を決めるのが大変ですよね。河川堤防なんかはCUBがいいとか道路とかになると全部の条件がちがうのであれが一番困ります。社内で教えるときとかにも大変です。



代表取締役 社長
高松 博司

社長の一言

古都で昭和31年（1956年）に創業して68年を迎えています。その間、関西地盤環境研究センターの開設時からお付き合いをさせて頂き、古参企業として歩んで来ています。

今後とも、互いに切磋琢磨し言葉を掛けられる古都の企業で有りたいと思っていますので、よろしくお願いします。

土質力学応用講座のお知らせ（組合支援事業）

主催：協同組合関西地盤環境研究センター

後援：（公社）地盤工学会 関西支部

（一社）日本応用地質学会 関西支部

（一社）関西地質調査業協会

新春の候、組合員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

協同組合関西地盤環境研究センターの教育・技術小委員会では当センターの顧問の大島昭彦大阪公立大学名誉教授を講師にお迎えし、「土質力学応用講座」を企画いたしました。

講座の内容は、①夢洲地盤の圧密沈下と諸問題、②実用的なせん断試験と c 、 ϕ の求め方です。

最前線で業務を担当しておられる中堅技術者から若手技術者はもちろんのこと、改めて土質力学を復習しようと考えておられるベテラン技術者の方まで多くの方に聴講していただきたいと考えています。この講演は当センターの支援事業として企画したものです。奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

開催日：2024年4月10日（水） 14:00～17:00

開催場所：大阪公立大学 文化交流センター ホール

大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階 TEL 06-6344-5425

開催形式：組合員・賛助会員 対面・オンラインによるハイブリッド形式

組合員外 対面のみとさせていただきます

会費：組合員・賛助会員 無料

組合員外 テキスト代として1,000円

講座内容：（CPDポイント：2.5）

14:00～14:05 開会のあいさつ

14:05～15:15 ①夢洲地盤の圧密沈下と諸問題（70分）

【 夢洲の埋立状況、今後の埋立地盤の沈下ならびにその他周辺状況に関する諸問題について、最新の研究結果を交えて情報提供いただく。 】

15:15～15:35 休憩（20分）

15:35～16:55 ②実用的なせん断試験と c 、 ϕ の求め方（80分）

【 三軸試験の問題点を踏まえた実用的なせん断試験の考察、全応力解析と有効応力解析に関する話題を踏まえて土質試験結果を正しく理解して地盤解析に利用することの重要性について解説する。 】

16:55～17:00 閉会のあいさつ

申し込み方法：対面・オンラインともに申込用紙にご記入の上、メールアドレス

(info@ks-dositu.or.jp) よりお申し込みください。

申し込み〆切：2024年3月15日

お問合せ：教育・技術小委員会事務局 八谷・金津

TEL：06-6827-8833 mail：info@ks-dositu.or.jp

委員の独り言

1月1日、石川県能登地方を中心に発生したM7.6の地震「令和6年能登半島地震」により、年明けからテレビやネット等の報道で深刻な状況を目の当たりにしました。その最中、2日の夕方に新千歳空港から羽田空港に向かっていた日本航空516便が、着陸後に海上保安庁の航空機と衝突し、両機が炎上しました。海上保安庁の航空機は地震が発生した石川県に向かう予定でした。現実の出来事としては受け入れがたく、フェイクニュースであって欲しいとテレビの前で呆然としていました。

私がこの独り言を書いている時点では、まだ頻繁に余震が発生しており、地震活動は依然として活発な状態が続いています。今後2～3週間程度、最大震度5強程度以上の地震（余震）に警戒が必要であると気象庁から見通しが発表されています。

石川県の知人と連絡が取れたのですが、知り合いの中にご実家等が被災に遭われ、全倒壊している人がいると聞きました。何から手をつけて行けば良いかも分からないと。どんな言葉をかければ良いか、自分に何が出来るか全く分からず、「私に出来る事があれば何でも言って下さい」と伝えることしか出来ませんでした。

「令和6年能登半島地震」により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての方々に心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧復興と、被災者の皆様に平穏な日々が戻りますことをお祈り申し上げます。

(ビューエンジニアリング株式会社 工藤)

編集後記

令和6年能登半島地震で被災された方々、関係者の方々に、深くお見舞い申し上げます。また、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

センターニュース【2,3月号】をお届けさせていただきます。

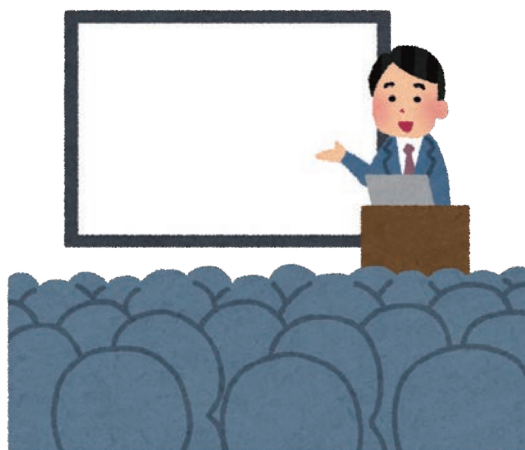
講演会や見学会など、人が集まる行事が復活し、センターニュースも掲載ネタが増えてきたと実感しております。

何より、前号で始まりました新企画「かいしゃたんぼうき」、いかがだったでしょうか？気になるところです。センターニュースをコミュニティの場として発信しようと考え、まずは、同業者でもいろんな会社があるものだと、感じていただければと思っています。さて、次はどの会社を訪れるのか、お楽しみに。

まだまだ、センターニュースでは“こんな企画”“こんな情報があれば・・・”など、皆さんから広くご意見をいただければと思います。

まだまだ寒い日が続きますが、体調に気を付けて！年度末を乗り切りましょう。

(中谷 英之 記)



組合員・賛助会員名簿

【組合員名簿】

(50音順)

会社名	電話番号	会社名	電話番号
株式会社 アテック吉村	(072)422-7032	株式会社 タニガキ建工	(073)489-6200
株式会社 池田地質	(06)6797-2280	株式会社 地域地盤環境研究所	(06)6943-9705
株式会社 勇コンサルタンツ	(06)6306-6907	株式会社 地圏総合コンサルタント 四国支店	(0897)33-3123
株式会社 インテコ	(0742)30-5655	中央開発 株式会社 関西支社	(06)6386-3691
株式会社 エイト日本技術開発 関西支社	(06)6397-3888	中央復建コンサルタンツ 株式会社	(06)6160-1121
株式会社 エムアールソイル	(06)6195-6712	株式会社 東京ソイルリサーチ 関西支店	(06)6384-5321
株式会社 オキコ コーポレーション	(06)6881-1788	株式会社 東建ジオテック 大阪支店	(072)265-2651
応用地質 株式会社 関西事務所	(06)6885-6357	東邦地水 株式会社 大阪支社	(06)6353-7900
川崎地質 株式会社 西日本支社	(06)7175-7700	土質コンサル 株式会社 大阪事務所	(072)634-6373
株式会社 関西土木技術センター	(075)641-3015	株式会社 中堀ソイルコーナー	(06)6384-9069
株式会社 基礎建設コンサルタント	(088)642-5330	株式会社 日さく 大阪支店	(06)6318-0360
基礎地盤コンサルタンツ 株式会社 関西支社	(06)4861-7000	株式会社 日建設計	(06)6203-2361
キタイ設計 株式会社	(0748)46-2336	株式会社 日本インシーク	(06)6282-0310
株式会社 キンキ地質センター	(075)611-5281	日本基礎技術 株式会社 関西支店	(06)6351-0562
株式会社 KGS	(072)279-6770	日本物理探査 株式会社 関西支店	(06)6777-3517
株式会社 建設技術研究所 大阪本社	(06)6206-5700	ハイテック 株式会社	(06)6396-7571
興亜開発 株式会社 関西支店	(072)250-3451	株式会社 阪神コンサルタンツ	(0742)36-0211
国際航業 株式会社 関西事業所	(06)7175-8733	阪神測建 株式会社	(078)360-8481
株式会社 国土地建	(0748)63-0680	ビューエンジニアリング 株式会社	(088)665-7360
サンコーコンサルタント 株式会社 大阪支店	(06)6121-5011	復建調査設計 株式会社 大阪支社	(06)6392-7200
有限会社 ジオ・ロジック	(072)453-1000	双葉建設 株式会社	(0748)86-2616
株式会社 白浜試験	(0739)42-4728	報国エンジニアリング 株式会社	(06)6336-0228
株式会社 ソイルシステム	(06)6976-7788	株式会社 メーサイ	(06)6190-3371
株式会社 大同ソイル	(0745)63-1850	明治コンサルタント 株式会社 大阪支店	(06)7178-1659
大日本ダイヤコンサルタント 株式会社 江坂オフィス	(06)6339-9141	株式会社 ヨコタテック	(06)6877-2666

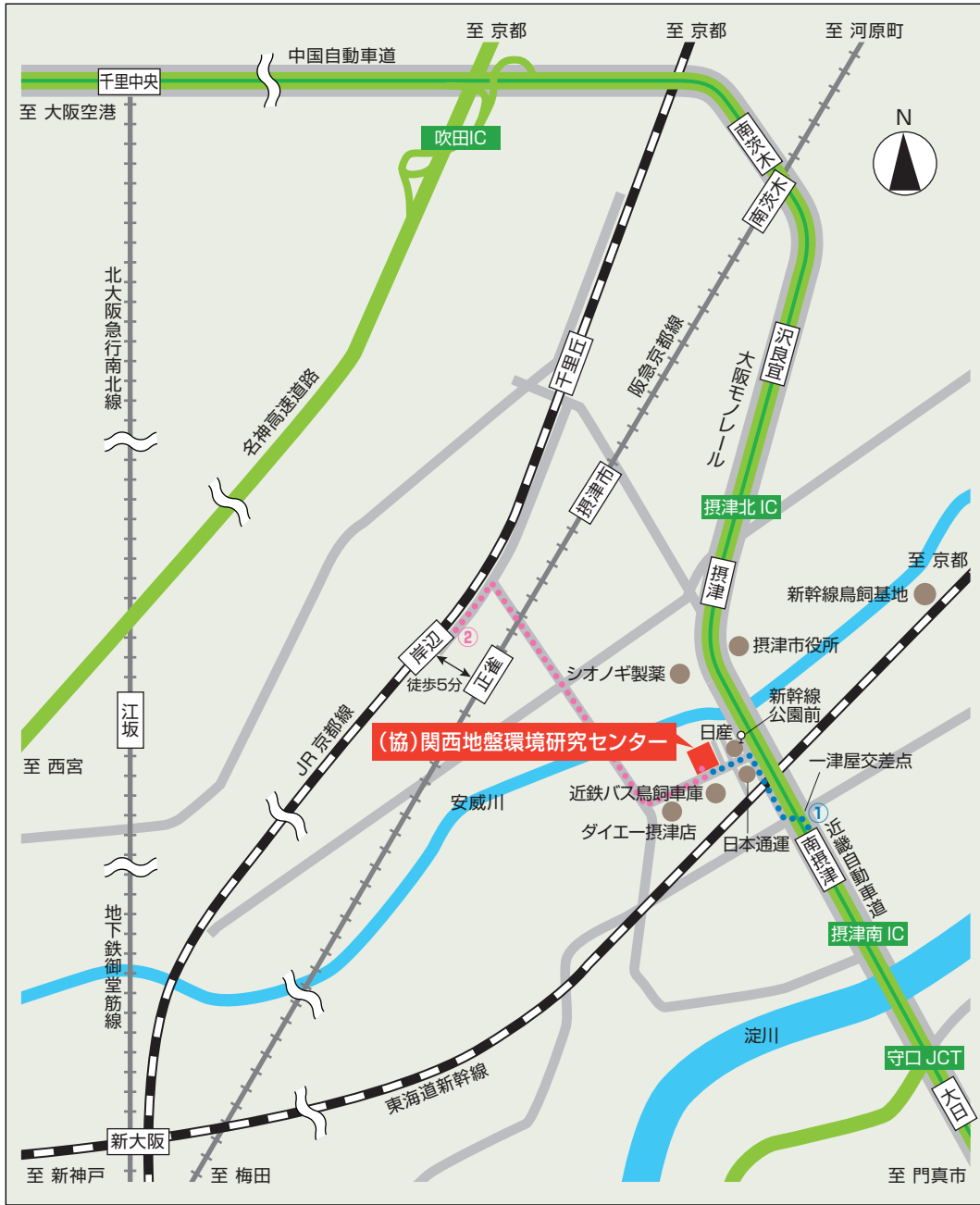
【賛助会員名簿】

会社名	電話番号	会社名	電話番号
株式会社 アサノ大成基礎エンジニアリング 関西支社	(06)6456-1531	株式会社 総合技術コンサルタント	(075)312-0653
株式会社 アーステック東洋	(075)575-2233	株式会社 ソルブレイン	(06)6981-3330
株式会社 JFDエンジニアリング	(06)6531-3326	株式会社 兵庫コンサルタント	(0799)28-1074
株式会社 創研技術	(088)652-0077	有限会社 ビュアソイル	(072)440-5137

発行 協同組合 関西地盤環境研究センター
 〒566-0042 摂津市東別府1丁目3番3号
 TEL 06-6827-8833 (代)
 FAX 06-6829-2256
 e-mail info@ks-dositu.or.jp

編集 広報小委員会
 編集責任者 八谷 誠
 印刷 千里丘印刷

<https://www.ks-dositu.or.jp>



①南摂津駅(大阪モノレール)より徒歩12分 ②JR岸辺駅よりタクシーで約10分

新大阪駅より地下鉄御堂筋線に乗り千里中央駅でモノレールに接続、千里中央駅から南摂津駅まで21分

協同組合 関西地盤環境研究センター

〒566-0042 大阪府摂津市東別府1丁目3-3

TEL.06-6827-8833(代表)

FAX.06-6829-2256(地盤技術室)

<https://www.ks-dositu.or.jp>